

薬連ハイライム

日薬学術大会（新潟）に日本薬剤師連盟ブース出展決定！

令和8年10月11日（日）・12日（月・祝）、新潟県にて開催される第59回日本薬剤師会学術大会において日本薬剤師連盟ブースの出展が決定しました。

例年通り、本田あきこ参議院議員、神谷まさゆき参議院議員の両薬剤師議員が、ブースにおいて参加者の皆さまから現場の声や訴えを直接聞くとともに、直近の課題や活動内容についてお伝えする予定となっております。ぜひこの機会に薬剤師議員と直接、意見交換をしてみませんか。

また、今回も写真撮影用の日薬大会記念ボードをご用意しております。本田あきこ議員、神谷まさゆき議員のブース滞在時間については、薬連タイムズのSNSにてお知らせします。ブースの設置場所は日薬ホームページ等の日薬大会情報にてご確認ください。多くの皆さまのお越しをお待ちしております。

神谷まさゆき後援会の活動を本格化

参議院議員として活動を続ける神谷まさゆき議員

は、薬剤師・薬局を取り巻く制度や政策の充実に向け、国政の場で精力的な活動を展開しています。

日本薬剤師連盟の組織内議員として、調剤報酬や薬局機能の充実、地域医療における薬剤師の役割強化など、薬業界・薬剤師職能に関わるさまざまな課題に取り組み、多くの制度や政策の実現・前進に尽力しています。

後援会では、神谷議員の活動や政策をより多くの皆さまに知っていただくため、新たにポスターおよび名刺サイズの資料を作成しました。

これらの広報資材は、薬局や医療機関、薬剤師会関係施設をはじめ、多くの薬剤師の皆さまの目に触れる場所で積極的にご活用いただきたいと考えています。

神谷議員が今後も薬剤師・薬局の声を国政へ届け、制度のさらなる充実に取り組んでいくためには、一人でも多くの皆さまのご理解とご支援が欠かせません。

ぜひ、ポスターの掲示や名刺型資料の配布など、後援会活動へのご協力をお願いいたします。

皆さま一人ひとりのお力添えが、薬剤師・薬局の未来を支える大きな力となります。

オレンジ日記

地震災害に思う、今も昔も

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



令和8年熊本地震により犠牲となられた方々へ哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様には謹んでお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。これまでの皆様からの熊本に対するご心配、お見舞いのご連絡に心から感謝申し上げます。

9月1日は防災の日。

103年前の1923年9月1日、関東大震災が発生しました。元来、わが国は地球上の位置や地形・地質などの面からみて自然災害が起こりやすいと言われ、加えて近年の気候変動も風水災害の発生に影響を与えていると考えられます。

1961年に災害対策基本法が制定され、災害発生時の救助体制や被災者を守る支援策も広がってきており、そして年内に防災庁が設置され、防災・減災に関する国内の体制と機能が整います。

防災対策は元より、災害発生後の明確な指揮系統下での速やかな初動が減災につながります。女性が安心して避難できる環境づくりをはじめ、慣れない避難生活が続くことによる災害関連死を防ぐことも新組織のミッションです。

災害時の水の確保も重要です。

飲料水として「1人1日3リットルの飲料水を3日分」、トイレを流す時などに使用する生活用水としてお風呂の浴槽などに水を溜めておくことが推奨されています。水は薬局・薬店・医療機関等にとっても業務上必需品です。

防災の日を機に、身のまわりでできる「備え」を心掛けなければと改めて思います。

（参考）
・防災の手引き〜いのちとくらしをまもるために〜（首相官邸ホームページ）
・防災ポータル（国土交通省）
・防災・危機管理eカレッジ（総務省消防庁）

政 幸 だ よ り

攻めの予防医療に関して

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



政府は「経済財政運営と改革の基本方針2026」、いわゆる骨太の方針2026を閣議決定しました。

骨太の方針には強い経済の実現に向けて、責任ある積極財政に基づく中長期経済財政計画では全世代型社会保障の構築として医療・介護等が取りまとめられています。薬局・薬剤師の関係では、「休薬・減薬などの効果的・効率的な治療の促進」などにより質の高いサービスを提供するとなっています。

また、高市総理が掲げる「攻めの予防医療」の推進には、健康増進、肥満症を含む疾病予防、早期発見、早期介入及び行動変容に関係機関と連携した取り組みや栄養・食生活を含む健康リテラシーの向上、学齢期の健康診断の在り方の見直し、プレコンセプションケアの推進、睡眠対策を含む健康経営の推進、予防・健康づくりなどの項目が記されています。中でも薬局・薬剤師の関係では、『地域住民の健康増進に資する薬局機能及び薬剤師の果たす役割の強化』と記載されました。

令和7年の薬機法改正に伴い健康サポート薬局が健康増進支援薬局に移行されたように、薬局・薬剤師の果たす役割には大きな期待がされています。地域の特徴に応じてその機能・役割がより発揮できるよう、引き続き皆様と共に取り組んでまいります。